

JGS 関東 新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会
第 21 回 議事録

■日 時：2022 年 2 月 2 日（水）14:00～16:40

■場 所：Web 会議（Zoom）

■出席者：桑原（パイルフォーラム）、青木（竹中）、加倉井（パイルフォーラム）、阿部（東京ソイル）、柏（国総研）、片山（東邦地下工機）、小坂井（MFR）、西（安藤ハザマ）、三反畑（安藤ハザマ）、古垣内（東急）、張（東急）、嶋田（大林）、森（熊谷）、福田（戸田）、長澤（清水）、栗本（清水）、原（西松）、伊藤（東亜）、小林（大成）、高岡（三井住友）、梶野（長谷工）、土屋（竹中）、宮本（東洋テクノ）、木谷（三谷セキサン）、田中（大洋基礎）、小川（旭化成）、細田（ジャパンパイル）、高田（不動テトラ）、有山（丸建興業）、野坂（八州建機）、媚山（新潟商事）、根岸（地盤試験所）、飯島（土木研究所）

欠席：____，記録：長澤

■配布資料

21-0_既存杭撤去第 21 回議事次第_220126
21-1_第 20 回既存杭の撤去に関する研究委員会_議事録（案）：細田_220202
21-1-1_表紙-前書き_220202
21-1-2_1 章_211227
21-2-1_WG2_第 2 章既存杭を考慮した新設杭の計画と既存杭及びその撤去埋戻し部に関する調査_220202
21-3-1_第 3 章_WG1_20220201
21-4-1_WG2_第 4 章_20220202
21-4-2_WG2_付録 2_20220202
21-4-3_WG2_第 4 章・付録 2 の図の転載状況
21-5-1_WG3_ガイドライン 5.1 案_20220202 原
21-5-2_WG3 ガイドライン 5.2 案_220202 木谷
21-5-3_WG3_ガイドライン 5.3 案_20220202 宮本
21-5-4_WG3 ガイドライン 5.4 案_20220202 土屋
21-6-1WG3_ガイドライン 6 章_20220202 案
21-7_第 7 章_ガイドライン 7 章合体版_20211202
21-7-1_第 7 章 1_WG1_20220201
21-8-0_（18-2）手引き_8 章残された課題_2100823
21-8-1_付録 1_アンケート結果_211201
21-9-1_既存杭講習会案 2022. 1. 28
21-9-2_覚書(既存杭委員会確認用) ver0_220131
21-9-3_覚書(土の締固め管理-盛土締固め委員会)_220131
査読結果 5 章_20210826 修正

■議事

1. 前回議事録の確認等（記録：細田委員）→ 資料 21-1

第 20 回（2021 年 12 月 1 日）の議事録（案）が確認され、承認された。

補足として、出版に当たって、取りまとめた原稿はまだ渡していない。今回の打合せ結果を受けてからの契約となる。

2. 主査・幹事担当（表紙・まえがき） → 資料 21-1-1、資料 21-1-2

- ・まえがき 21 行目の「～に関する報告書」は「～に関する手引き」とする。
- ・目次は、各章に合わせて変更した。

3. WG1 担当（3 章、7.1 節） → 資料 21-3-1、資料 21-7-1

3 章

- ・表 3.4.4 中における直接引抜き『埋戻し方法の評価』は全て「1～3」とする。

7.1 節

- ・表 7.1.7、表 7.1.8 は、縁切り引抜き工法と破碎撤去工法についてであるため、文章と表タイトルと修正する。
- ・表 7.2.1、7.2.2 は、空白が多くなっているため、コンパクトにまとまるよう修正する。

4. WG2 担当（2 章、4 章、付録-2） → 資料 21-4-1～資料 21-4-2

2 章

- ・ほとんど修正無し。2.1 のタイトルを修正した。

4 章

- ・4.6 に「流動化処理土以外の事例として、～」の文章を入れた。
- ・一部、文章、参考文献番号を修正した。

付録－2

- ・参考文献の番号を一部修正した。

5. WG3 担当（5 章、6 章、付録） → 資料 21-5-1～資料 21-5-4、資料 6-1

5 章

- ・5 章、5.1、5.1.1 のタイトルが同じなので、再考して修正する。
- ・数字のフォントをどう統一するかは、他の章も含め、出版社（総合土木研究所）と調整する。

6 章、付録

- ・特に指摘なし。

6. 主査・幹事担当（8 章、付録-1、付録-3、） → 資料 21-8-1

特に修正指摘なし。

7. 転載許可、索引について → 資料 21-4-3

- ・転載許可については、出版社（総合土木研究所）が行うので、一覧表を渡すこととする。
参考文献名を書くだけではなく転載許可が必要となる。
- ・転載一覧表は、2 月 21 日までに各章の担当で作成する。
- ・索引を作成することとする。ゲラができた段階で、索引として必要な用語を各章でピックアップする。

8. 講習会および印刷物の計画 → 資料 21-9-1～資料 21-9-3

講習会

- ・タイトルを「既存杭の撤去・埋戻し方法とその影響を受ける新設杭の設計・施工」とする。
- ・講習会の時間は、内容にもよるが、午後半日で希望を出す。
- ・講師担当者とは時間は、今後調整をする。

出版

- ・学会と出版社での契約となる。
- ・タイトルを「既存杭の撤去・埋戻し方法とその影響を受ける新設杭の設計・施工」とする。
- ・部数や定価は、今後の調整が必要となる。在庫が残らないような部数で調整が必要となる。
- ・地盤工学会の過去の実績をもとに部数を検討されてはどうか。
- ・今回は、学会が販売するようなことはしない、とのことである。
- ・できるだけ安くした方が、広めることができると思われる。ただ、200 ページ、カラー印刷となるので、多少は高くなると思われる。
- ・執筆料は無し、とする。印税を地盤工学会に入れることとする。
- ・委員会の委員には、1 部ずつ無料提供することで調整する。
- ・関東支部、委員長、出版社（総合土木研究所）で、詳細を調整することとする。

9. 今後のスケジュール

- ・次回 3 月 23 日（水）14:00～17:00
- ・印刷物の確認
- ・転載許可
- ・講習の担当者（委員長、幹事で案を作成）
- ・次年度講習会計画 等

以上